

(二) 回答事項

一 解雇手当制定  
 六ヶ月未満八十四日分、六ヶ月以上六ヶ年未満八十四日乃至二十五日分、一年以上二年未満八十五日乃至三十七日分、二年以上八三十七日乃至四十九日分、三年以上八四十九日乃至六十一日分、四年以上八六十一日乃至七十九日分、五年以上八之標準に  
 俸、電長キ時八手当五週間分支給ノコト  
 一 年未年始ノ休業ヲ短縮スルコト  
 十二月三十日ヨリ一月三日迄五日間休業ノコト

監査書 (一)

一 解雇手当ノ制定  
 一 解雇手当ノ支給ハ別表ニ依ル  
 一 退職手当ノ制定

ニヶ年以上ノ勤続者ニ對シテ八日給ノ五週間分ヲ支給ノコト

一 皆勤手当ノ制定

一ヶ月間精勤者ニ對シテ日給ノ二日分ヲ支給スルコト

一 停電手当ノ制定

相当ノ額ヲ支給スルコト

一 年始年末ノ休業ハ短縮  
 年始八四日ヨリ就業年末八三十日迄就業ノコト  
 以上各項実行上ノ手続ノ制限等ニ關スル細則  
 右ノ各項規定ヲ遂ケタルニ付為後日監査書作製  
 候也

大正十二年二月一日

株式会社日本可鋳鑄鉄所

取締役

本間英磨

監査人表者

森慶太郎